

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する。				
評価方式		総合 <del>実績</del> 事業	政策目標の達成度合い	相当程度進展あり	番号	4-10
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度概算要求額
予算 の 状 況	当初予算（千円）	20,715,350	20,627,869	20,159,538	18,671,976	20,369,306
	補正予算（千円）	252,740	532,626	△496		
	繰越し等（千円）	980,848	△454,325	707,437		
	計（千円）	21,948,938	20,706,170	20,866,479		
執行額（千円）		21,682,405	20,359,461	20,600,298		
政策評価結果の概算要求への反映状況		<p>政策目標の達成に向けて、緊急地震速報の精度向上及び台風中心位置の予報精度向上に引き続き取り組むほか、都市圏活断層図等の防災地理情報を引き続き整備・提供するため、所要額を概算要求した。</p> <p>台風中心位置の予報精度向上においては、平成32年に誤差200kmを目標とし、平成28年の誤差は234kmまで順調に縮小している。進捗状況は良いが、目標達成には予測に用いる数値予報システムを高度化し、新たな数値予報技術の開発や数値予報モデルの改良等が不可欠であることから、数値予報システムの高度化に要する経費について概算要求を行った。</p>				

（注）直近の評価結果が分かる評価書又はそれに準じた評価書を添付すること。

## 政策評価調書（個別票2）

政策名	自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する。				番号	4-10		(千円)	
	予 算 科 目					予算額		政策評価結果の反映による見直し額（削減額）合計	
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	29年度 当初予算額	30年度 概算要求額		
対応表において●となっているもの	●	1	一般	国土交通本省	災害情報整備推進費	災害時における情報伝達手段等の整備に必要な経費	7,088	6,830	
	●	2	一般	国土地理院	災害情報整備推進費	災害時における情報伝達手段等の整備に必要な経費	529,744	579,723	
	●	3	一般	気象庁	観測予報等業務費	自然災害による被害を軽減するための気象情報の充実に必要な経費	17,174,723	19,273,031	
	●	4	一般	気象庁	観測予報等業務費	静止気象衛星業務に必要な経費	960,421	509,722	
	小計							18,671,976	20,369,306
対応表において◆となっているもの	◆	1							
	◆	2							
	◆	3							
	◆	4							
	小計								
対応表において○となっているもの	○	1							
	○	2							
	○	3							
	○	4							
	小計								
対応表において◇となっているもの	◇	1							
	◇	2							
	◇	3							
	◇	4							
	小計								
合計							18,671,976	20,369,306	

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する。			番号	4-10	(千円)	
事務事業名	整理番号		予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	政策評価結果の概算要求への反映内容
			29年度 当初予算額	30年度 概算要求額	増△減額		
該当なし							
合計							